

かつしかの

きょういく

第131号



中学生海外派遣 オーストラリアで国際理解教育!

平成28年8月20日から27日まで、オーストラリア クイーンズランド州へ葛飾区を代表して中学生48名(男子15名、女子33名)が海外派遣に行ってきました。

この海外派遣は、葛飾区教育振興基金計画に位置付けられ、お互いの違いを認め合い、尊重し合う国際社会の一員として、国際感覚の優れた子どもを育成を目的としています。

第一期生として、各中学校から選ばれた生徒は、6回の事前学習会で、オーストラリアの風土・風習、ホームステイでの過ごし方のほかに、ホームステイ先で「葛飾区の紹介」ができるよう、英語の学習を行いました。

派遣生徒は、異文化理解と英語の学習のために、語学レッスンを受けて、現地校の生徒に混ざって授業に参加したりしました。

5日目には、在プリズベン日本国総領事館で、領事館の職員やグローバル企業で働く日本人の講演を聞き、午後からは、ローンパインサンクチュアリ(動物園)を見学しました。

6日目の午前中には、小学校5年生に「かつしか郷土かるた」と「折り紙」を使った日本語学習



ボランティアをしました。現地の先生は、「とても丁寧にひらがなを教えてくださいました。ひらがなを習った児童はたくさんほめてもらえて喜んでいました。」と話していました。

生徒へのアンケート調査では、「始めは不安だったけど、自分から外国の方と積極的に話すことができるようになった。」「文化や考え方の違いが理解できたので、これからはいろいろな国に行ってみたい。」「英語力を高めるために、毎日英語に触れるようにする。」「などの感想を多くの生徒が書いており、海外派遣をきっかけにコミュニケーションに対する積極性が高まったことがわかりました。

来年度も引き続き、海外派遣の実施を計画しています。派遣された生徒は、各校でこの体験を発表することになっています。派遣された生徒は、海外派遣を機に葛飾区のリーダーとして成長し、将来、葛飾区のために活躍してほしいと思います。

指導室 ☎(5654)8469

